平成 25 年度 会計別当初予算

一版 25 千皮 云前则当初了并				
会計名		平成 25 年度	平成 24 年度	増減率/
一般会計		148 億 9,500 万円	137億9,253万円	8.0%
特別会計		88 億 3,019 万円	88 億 5,214 万円	▲ 0.2%
	国民健康保険	32 億 3,432 万円	30億9,072万円	4.6%
	後期高齢者医療	3億5,162万円	3億5,072万円	0.3%
	介護保険	29 億 8,532 万円	29 億 3,854 万円	1.6%
内	簡易水道	1億211万円	1億1,657万円	▲ 12.4%
訳	下水道	16億6,317万円	18億6,015万円	▲ 10.6%
	農業集落排水	4億4,275万円	4億4,514万円	▲ 0.5%
	漁業集落環境整備	5,088 万円	5,029 万円	1.2%
	加斗財産区	2 万円	2 万円	0%
企業会計 (水道)		9億1,370万円	9億8,178万円	▲ 6.9%
合計		246 億 3,888 万円	236 億 2,645 万円	4.3%
<u> </u>				

込まれます。への負担金などの増加が見 障経費をはじめ、 る生活保護費などの社会保歳出では、年々増加してい 特別会計 ます。

県内9市で最大の伸び率

税の減少が見込まれまた法人市民税の減少など、 歳入は、

の大野』 厳しい財政状汚汁 が成立れることから、第52 満可能な財政運営に努めて まいります。 まいります。 また、第5次総合計画を また、第5次総合計画を また、第5次総合計画を もた、第5次総合計画を 大型事業が控えており、小学校の建設など、多数 今後も公共施設の耐震化 多数

新規事業とし 予算を盛り込 むなど、 算特別枠」 て立ち上げま 合わ

した。 市 民 0

おばま』市の財政 す。ちづ り組みます。 今後も、 『「夢、無限大」感動財政状況をお伝えしな 6』の宝『「夢、 実現に向 市民 皆さんに

衛生費

環境保全、ごみ処理など

55,513 円 (前年度比 499 円減)

公債費

53,984 円

借金の返済

みでは、

に向けた取組

らし

の実現」

全・安心な暮

館の耐震補強工事、新今富実施、中学校の校舎・体育備や小浜市総合防災訓練の 公民館 の建設などを行 新今富 体育 11 ま

算のポイ

働のまちづくり 取り組みます。 地域の魅力を高める事業に 狭自動車道全線開通に向 浜縦貫線の拡幅工事、 講演会の開催など、 推進するための市民会議や 人づくり」 「賑わ 保存に対する支援や 重伝建地区 の推進にお の面的な整 をさらに 日と地域 舞鶴若 協 け て

るために、「予

や観光客誘致に積極的に取大など、地域経済の活性化ブランドの全国的な販路拡 ・ミアム商品券の販売、 企業誘致の推進や地元で 消費を促進・拡大するプ 推進」に向けた取組みでは、 「魅力ある産業・ 観光 地域 0)

民生費

130,654 円

(前年度比 6.639 円増

次の金額になります1人当たりにすると一般会計予算は市民 市民1人当たりの予算 476,671 円 (前年度比 39,991 円増) ※人口は3月1日現在 31,248 人で計算





62,912 円 (前年度比 7,675 円増)



43,809 円





平成25年度の当初予算が決まりました。

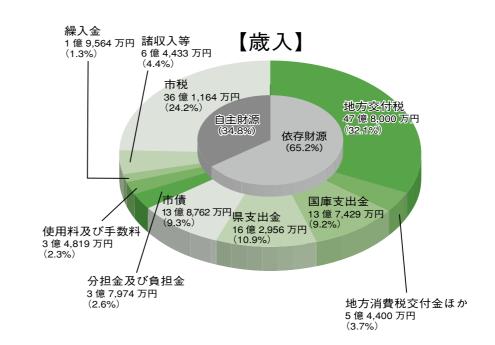
「笑顔」で生活できるまち、「笑顔」で夢に向かって頑張れるまちを念頭に、 3つの柱①市民の安全・安心な暮らしの実現、②賑わいの創出と地域・人づ くり、③魅力ある産業・観光の推進による重点施策をはじめ、さまざまな事 業に積極的に取り組みます。

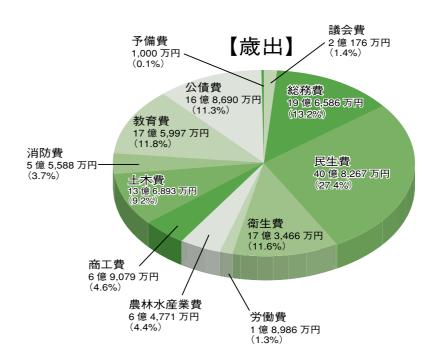
市民生活の安全・安心の確保や重伝建地区の景観形成、道路整備など、防災・ 減災対策や地域の産業・観光の推進を中心に積極的に予算配分しました。ま た、「持続可能な健全財政の確立」を図るために、財源(歳入)の確保に努め、 4年連続で財政調整基金(貯金)を取り崩すことなく編成しました。

■問い合わせ 財政課 ☎内線 332

般会計 148億9,500

※歳入と歳出は千の位を四捨五入しているため、合計額は総額と一致しません





地域づくり・人づくり

● 「協働のまちづくり」の推進に 121 万円 市民会議、講演会の開催や地域コミュニティと連携した事業を実施します

各地区の「まちづくり委員会」活動費を助成します ● いいとこ小浜づくり活動の支援に 200万円

●夢づくりコミュニティ活動の支援に 500 万円

まちづくり活動団体の活動費を助成します ● 夢づくり市民活動の支援に 50 万円 ボランティア、市民活動団体の活動に消耗品などを現物支給します

● 市民協働の地域環境づくりに 750 万円 PTA や地区の奉仕活動に原材料などを現物支給します

●特色ある地域づくりの支援に 44万円 地域との協働で地域資源や特色を活かした取組みを行います

● 小浜の文化の継承に 146 万円 地域の民話、偉人伝のデジタル化や創作演劇を上演します

• いじめや暴力などの問題行動対策に 368 万円 問題行動対策委員会を立ち上げ、関係機関との連携による対策を図ります

● 東部地区小学校の建設推進に 1.075 万円 (仮称) 東部小学校の建築基本計画を策定します

● 再生可能エネルギーの普及に 90 万円 公共施設に太陽光発電設備を導入するための事前調査を行います

次世代バイクの導入に 166 万円 電気(EV)バイクを導入し、周知することで、環境保全意識を高めます



わいの創出

● 道路・橋の整備に 2 億 2,830 万円 生活基盤安定のため、道路・橋を整備します

● 重伝建地区保存修理に 3.933 万円 重要伝統的建造物群保存地区内の建造物などの修理、修景の経費を助成します

● 小浜西組の魅力アップに 85 万円 伝統建造物の内部を解説したDVDの放映やお茶屋体験イベントを開催します

● 広域交通網の整備促進に 48 万円 北陸新幹線若狭ルート早期実現に向けた推進活動を行います

観光インフラの整備に 70万円 Wi-Fi スポットや観光案内用タブレット端末を整備します



率重視の行財政改革

● 電子入札システムの導入に 927 万円 入札参加者の負担軽減や入札、契約事務の効率化を図るために、電子入札シス テムを導入します

● 電子情報化の整備促進に 113万円 IT を活用した情報の迅速な提供や職員の電子情報セキュリティに対する意識 改革を行います



・防災行政無線の整備に 3億8,400万円

同報系デジタル防災行政無線を整備します

●総合防災力の向上に 485 万円

総合防災訓練の実施や自主防災組織への支援など防災力の向上を図ります

● 学校施設の耐震補強に 3億9.650万円

小浜中学校、小浜第二中学校の校舎、体育館の耐震補強工事を行います

新今富公民館の建設に 3億7.813万円 太陽光発電による非常用蓄電池システムを備えた公民館の新築工事を行います

子どもの医療費助成に 7.367 万円 中学校修了までのすべての子どもに対する医療費を助成します

● 発達障がいの理解に 303 万円 講演会や映画の上映を通じ、発達障がいに対する理解を進めます

力ある産業と観光

● 誘致企業に対する助成に 1 億 3,000 万円 小浜市に誘致した企業に対し、企業振興助成金を交付します

● 地元での消費喚起に 600 万円 プレミアム商品券の発行(総額6,600万円)に合わせて、消費を拡大するイベ ントを開催します

● 地域ブランドの全国発信に 500 万円 地域の特産品を使った商品開発や全国的な販路拡大を支援します

●観光客の満足度の向上に 105万円 「てんこもり小浜フェスタ」の実施やまち歩き観光ツアーの充実を図ります

観光地「蘇洞門」の桟橋補修にかかる測量調査を行います ● 自然遊歩道の整備に 320 万円 真珠浜に通じる遊歩道の崩落している法面を補修します

蘇洞門桟橋の補修に 1,674万円

● 六次産業の推進に 650 万円

● 食文化の魅力発信に 140 万円 食文化館の開館 10 周年を記念したイベントを開催します

● 「食のまちづくり」の新たなステージに 1.546 万円 食文化館のミュージアム機能の強化や川崎地区の観光、産業の活性化を図るた めの詳細計画を策定します

● 食育ツーリズム誘客促進に 50 万円 「キッズキッチン」と収穫体験を組み合わせるなど、滞在型体験メニューをパッ ケージ化して中京、京阪神にPR活動を展開します

六次産業化の効果、メリットの周知や取組みを実施する農林漁業者などを支援します

● 「農」を活かした観光や加工品開発に 90万円 まちおこしイベントや加工品開発の経費を助成します ● 農業の維持発展に 1,500 万円

雇用の確保により、新規就農を促進するとともに農業の担い手に対する経営安

● おいしいお米の生産に 4,565 万円 JA若狭のカントリーエレベーターの改修や認定農業者の機械導入を支援します

● 鳥獣被害の未然防止に 3.389 万円 計画的な駆除を行い、野生鳥獣(シカ、イノシシなど)による農林産物への被 害を未然に防止します

● 地域で取り組む鳥獣被害対策に 60 万円 追い払い研修会の実施や鳥獣被害対策用の原材料を支給します









